

## 令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

### 【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブ・ラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

### 【学校 目標】

○明日の学びを見つける子、心豊かな子、人とつながる子の育成

「発見」と「ふりかえり」から主体的に学びを再構築する授業づくり【Mathematics(算数) Grows(成長) Humanpower(人間力)構想】人にやさしく、自ら学びつづける子 あしたをめざしてAction

### 【現状と課題】

○視点1 これまでの校内研究の実践により、児童・教師共に学びの自己調整に関する変化が見られた。昨年度の実践を踏まえ、校内研究や、個々の教員の実践交流等を通して、個別最適な学びの具体を更に追求していくことが望まれる。

○視点2 家庭基盤の脆弱性が挙げられる。子どもの「自己肯定感」「自己有用感」を高める取り組みが必要だと考えられる。

○視点3 地域ボランティア(「みな小応援団」)のサポートが厚い。それらの協力を、ESDカレンダーのスケジュールを活かしながら具体的に日々の学習活動に積極的に落とし込むことで、家庭・地域との連携を更に密にし、あたたかい学校づくりに生かしていく。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

#### 【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○算数科を窓口とした校内研究を軸とした授業改善 ・学習ツールの一つとして活用するタブレット端末の効果的な活用	・校内研究アンケート「自分は、「ふりかえり」を書くことで、自分の学習を見直すことができている」四件法において、4の割合70%以上 ・教職員向け学校評価アンケート「New草津型アクティブ・ラーニングを積極的に推進している」五件法において、4、5の割合70%以上		

#### 【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「ほめ方・認め方」の工夫による、一人ひとりが大切にされる学級集団づくり ※「R5 南笠東小こころあったかプロジェクト」	・学校児童アンケート「学校は楽しい」四件法において、4の割合70%以上 ・学校児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」四件法において、4の割合70%以上		

#### 【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○運営会議、二部会、校内研究会等に、OJT研修を計画的に連携させることで、情報共有、駆動力共にチームとして子どもの育成に取り組む。 ・総合的な学習を始めとする、家庭・地域・学校の積極的な連携	・教職員向け学校評価アンケート「教職員のニーズを捉えた学校課題に係る校内研修に取り組んでいる」四件法において、4の割合70%以上 ・教職員向け学校評価アンケート「各校の学力向上策をもとに、児童生徒の基礎学力向上に向けての取り組みを行っている」四件法において、4の割合70%以上 ・学校経営アンケート「コミュニティ・スクールくさつの推進を通して学校運営の充実を図るとともに、【スクールESDくさつ】プロジェクトや地域協働校の理念を踏まえた取組を行い、保護者や地域住民への積極的な情報発信ができています。」五件法において、4、5の割合60%以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・「我が校の学ぶ力向上策」は、二部会(学力向上)にて、共有・周知を図り、進捗状況や達成に向けての修正の必要性を随時協議する。(二部会→毎月開催。その後、職員会議にて周知)

・視点1の実践は、校内研究主任が中心となり、校内研究推進委員会及び校内研究全体会を通して、実践を推進していく。視点2は、学校長のリーダーシップのもと、人間力部会との連携して推進。視点3は、教務部が中心となって、組織的な実践につなげる。

・全国学力学習状況調査テストの校内における児童答案の分析を、6学学年の担任だけではなく、全教職員で検証・改善策を協議する。また、学力部会での更なる検討を重ね、校内研究の進捗状況を鑑みて、系統立てた実践を提案していく。(第一次分析→5月中・第一次分析→1学期※全国学習状況調査テストを、教職員皆が取り組んだ上で、学年部に割り振った自校採点を通して、各教員から本校児童の課題を吸い上げる。第二次分析→2学期※全国学力学習状況調査テストの結果を受け、本校児童の課題となる、正答率の低かった問題を、職員打ち合わせ時間を使って全教職員が取り組み、今後の指導のポイントを見出す)

#### 今年度の取組の成果と課題